



平成 28 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社トライアンフコーポレーション
代表者名 代表取締役 小澤 勝
(コード番号 3651 TOKYO PRO Market)
問合せ先 経営管理部長 末次 達也
(TEL.03-5332-6751)

特別損失の計上及び平成28年9月期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 9 月期において特別損失を計上し、平成 28 年 5 月 11 に公表した平成 28 年 9 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社連結子会社のエコン株式会社（機器製造事業）において、受注し生産を開始している製品について、発注元が要請する仕様とエコン株式会社が認識する仕様との間に認識の相違があることが判明いたしました。発注元との交渉の結果、発注元側において当該製品が使用される予定の船舶の設計を一部変更することとし、この設計変更に関する費用のうち約 11 百万円をエコン株式会社が負担することとなったため、これを特別損失として計上するものです。

2. 平成 28 年 9 月期(平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)業績予想と実績値との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,639	百万円 31	百万円 23	百万円 3	円 銭 3.16
実績値 (B)	1,593	△38	△47	△76	△73.74
増減額 (B-A)	△45	△69	△71	△79	
増減率 (%)	△2.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 9 月期)	1,844	152	139	139	131.59

3. 連結業績予想との差異の理由

(1) 連結営業利益

当社連結子会社のエコン株式会社は、上記特別損失の計上の他、受注した製品に仕様変更が必要となったため製造原価が大幅に増加することになりました。このため、受注損失引当金22百万円を計上しました。

当社は、平成28年9月期において情報技術事業を営む会社2社の株式を取得しました。このようなM&Aに関連するデューデリジェンス費用とアドバイザー費用を総額8百万円計上しました。

当社連結子会社の株式会社トライアンフアセットマネジメントは、平成28年9月26日に収益目的の不動産2棟を取得したため、この取得に係る費用を5百万円計上しました。

以上を主な要因として、連結営業利益は予想を69百万円下回ることとなり、△38百万円になりました。

(2) 連結経常利益

連結営業利益の減少を主な要因として、予想を71百万円下回ることとなり、△47百万円になりました。

(3) 親会社株主に帰属する当期純利益

連結経常利益の減少及び上述のエコン株式会社の特別損失の計上などにより、予想を79百万円下回ることとなり、△76百万円になりました。

以上